

富士見町議会だより

臨時号

7/20臨時会報告

富士見メガソーラー株式会社設立出資金 300万円計上 賛成6・反対4で可決！

〔議案の趣旨〕

今年7月から再生可能エネルギーの固定価格買い取り制度が始まったため、この制度を利用し、土地開発公社保有の平岡・烏帽子住宅用地に収益性の高いメガソーラー発電会社を町が設立する構想。現在土地開発公社は11億7,000万円の借金を抱えており、発電事業による収益金をこの返済に充てたい考え。

町は事業調査及び計画を策定するため、株式会社設立を目的とした出資金300万円を一般会計補正予算として計上するものです。

〔事業内容〕

運営は、町主導で設立する第3セクター「富士見メガソーラー株式会社」。投資額は8億円を見込み、6億円は金融機関から無担保・無保証を前提に調達、残り2億円は町が出資し、内1億円は町民からの公募債を検討。売電収入は年平均9,500万円、20年で土地開発公社の借金6億7,000万円の返済を見込んでいる。

主 な 質 疑

名取武一：住民懇談会を先に開くべきではないか。

町 長：議会は町民の代表、議会のなかでは十分審議されている。今の段階は、事業計画を作るための調査。詳細が決まらない中での説明は、混乱を招く。

名取武一：町の投資分2億円に対する担保の考えは。

町 長：担保はない。投資した分は収益で回収できる。

小池 勇：発電事業を進めるためのものではなく、事業実施についての調査の費用か。

町 長：決定の前の調査である。調査をしないで事業を決めることはない。

加々見保樹：全員協議会で99%成功するとの説明だったが、その言葉を信じてよいのか。

町 長：99.9%の成功を確信している。

加々見保樹：環境に対する影響は。

町 長：検証は必要だが、現在のところ問題ないと考えている。

佐久祐司：1メガの建設費は3億円が相場。2メガ8億円は高すぎないか。

町 長：土地の造成費が余分にかかっている。しかし8億円でも採算は取れる。

佐久祐司：ドイツやスペインでは、供給が増え過ぎ固定価格を変更している。その場合のリスクは考えているか。

町 長：保障できないが、国が認めたことである。

佐久祐司：調査費の300万円は、事業をやらない場合無駄になるのでは。

町 長：300万円を惜しむことで土地開発公社の借金を減らす機会が失われる。

小林市子：資本金300万円の内、設立費用・顧問への報酬等の根拠は。

総務課長：顧問料5ヶ月分、税理士費用、登記費用40万円、弁護士費用20万円、事務費30万円、会社設立費用30万円、メーカー事業作成費用90万円。

小林市子：行政が事業を行うことは、民間を圧迫することにならないか。

町 長：土地開発公社の借金を減らすことが目的。メーカーに任せたら借金を減らすことができない。

宮下伸悟：銀行からの融資が無担保・無保証でなければ事業を起こさないか。

町 長：無担保・無保証でなければ事業はやらない。

三井新成：調査項目の内容と公表の時期は。

町 長：初期投資の額、売電の試算、リスク回避の方法を調査。公表は9月末を考えている。

平出隼仁：発電会社から土地開発公社への利益提供に贈与税がかかると思うが、対策は。

町 長：地代の支払い、固定資産税は問題ない。出資分に対する配当については現在調査中。